

人間力をつくる育成の秘訣

接点をもつ仕組みで人と人の「ズレ」をなくす

●エネチタ 代表取締役社長 後藤 康之

「共通認識」で深いコミュニケーションを

「チタ」と社名にも入っている通り、エネチタは知多半島の笑顔あふれる未来を目指して、エネルギー関連の事業を営む会社です。

そんな知多半島を愛するエネチタ社長、後藤康之さんは**毎月、各事業所を回って「社長勉強会」を開いています**。勉強会と言っても、堅苦しい講演会のような雰囲気ではなく、参加している従業員の方たちは社長との言葉のキャッチボールを楽しんでいるよう。それと同時に、真剣に学ぼうという意気込みが参加者の皆さんからひしひしと伝わってきます。

社長勉強会は、社長と従業員が良好な人間関係を築く上で欠かせない、日々のコミュニケーションのきっかけとなっているということです。

そして、**コミュニケーションにおいて必要不可欠なものは「共通のもの」「共通の用語」**だと、後藤社長は

語ります。

どんなに会話を重ねても、同じ言葉に対してお互いが違うものを想像していたら、噛み合うことはありません。会社の考え方、仕事へ向き合う姿勢、従業員を想う気持ち。こういったものを表面上の言葉で表現するだけでなく、一つひとつの認識を共有していく。そうすることで、**様々なところに「ズレ」が生じることがなくなり、お互いをわかり合い、仕事の効率化にもつながる**ということでした。

エネチタの風通しの良さはきっと、こういった社長の心配りから生まれているのでしょう。

「従業員を大切に」は見える仕組みで表現

「社長勉強会」が終わると、参加者は続々と社長の前に並び、順にハンコをもらいます。

イベントに参加することでもらえるハンコは、100個たまるとギフト券

と交換できるとか。ハンコをもらうときは、社長と一対一でコミュニケーションをとる機会にもなります。

他にもエネチタでは、社長の従業員を思う心が表れたユニークな福利厚生がズラリ。

プライベートでも使用可能なスマートフォンやタブレットの支給、G.W.に帰省し、ご両親に感謝の言葉と贈り物を渡すことで受け取れる「親孝行手当」、タバコを吸わない人や禁煙した人に支給する「健康手当」、部署の懇親会のために月1回支給される「懇親会手当」など、**「従業員を大切に」を、目に見える形で表した仕組みがたくさん**。

こうした仕組みを取り入れた結果、定着率の上昇という形で少しずつ表れてきているということでした。



株式会社エネチタ
後藤 康之さん
代表取締役社長

所在地 / 愛知県知多郡阿久比町
電話番号 / 0569-48-5588



皆さんの真剣な姿勢が印象的な社長勉強会の様子。

人間力をつくる育成の秘訣

無理のない教育で着実な成功体験を

●ホンダロジコム 経営企画室人事グループ係長 長谷川 正

選考前の説明会で社長の想いを伝える

春日井市に本拠地を置き、国内やベトナムの多数事業所を拠点に物流業やシステム開発業を行うホンダロジコム。人事を担当している長谷川さんに、従業員の定着についてのお話をうかがいました。

大学新卒者の入社後3年以内の定着率97%を誇るホンダロジコム。その背景にあるのは、**「居心地の良い空間づくり」**だと長谷川さんはいいます。

居心地の良い空間の土台は、採用の段階から築きます。新卒者向けの会社説明会の際は、社長自らが話す機会を設けているそうです。選考前にトップの想いに直接触れさせることで、「自分はこの会社の雰囲気合いそうだ」と思う学生が選考に応募することになります。結果、採用のミスマッチを減らすことにつながるのです。



自分らしくイキイキと働ける職場に

教育制度にも、居心地の良さを感じさせる理由が隠れています。

ホンダロジコムの教育は、長期的な目線に立って、着実に積み上げていくことを大切にしています。**無理に詰め込んだり、強い負荷をかけて教えることなく、少しずつ挑戦する機会を与えていく**。すると、若手従業員でも小さな成功体験を繰り返すことができ、少しずつ自信がついていくのです。

また、現場の課題を洗い出し、改善策を考えるQC活動を若手だけで行っています。**若手同士なら気兼ねすることなく自分の考えや意見を言えるため、積極的に仕事に参加し、そこにやりがいを見出しやすくなります**。

このように、窮屈さを感じることなく、伸び伸びと経験を積める教育システムによって、若手従業員も成

長を感じながら仕事を続けていけるのだそうです。

また、居心地の良さには、人間関係も大きく関わってきます。ホンダロジコムでは、正社員やパートなどの立場、あるいは年齢に関係なく、雑談も含めて気軽に話せる職場づくりをしていると、長谷川さんはいいます。

定期的に人事担当との面談の機会もあり、そこで出た意見は職場環境の改善に、あるいは要望は人事異動などにできるだけ反映しているとのことでした。

こうした一つひとつの取り組みを丁寧に実施していくことで、高い定着率を記録する「居心地の良い空間」をつくり上げています。



ホンダロジコム株式会社
長谷川 正さん
経営企画室人事グループ 係長

所在地 / 愛知県春日井市
電話番号 / 0568-56-5727

人が定着する職場の秘訣

経営者も従業員も仕事を「楽しむ」

●キョウエイファイン 代表取締役 坂元 貞仁

「仕事を楽しむ」ための 月間行動テーマ

一般的に人の入れ替わりが激しいとされる運送業界。その中で、キョウエイファインの坂元社長は「人が辞めない会社づくり」に取り組んでいます。

坂元社長へのインタビューで繰り返し出てきたキーワードは「楽しむ」。仕事内容に関係なく、楽しい環境で過ごせることが定着のカギだと、坂本社長は語ります。

そんなキョウエイファインのユニークな取り組みが、月ごとに設けられた行動テーマと、それにちなんだイベントです。例えば「子孝行月間」の1月には、従業員が子どもを職場に連れてきて、お父さん・お母さんの働いている姿を見せたり、フォークリフト体験をさせてあげたりと、子どもとの時間を大切にするプログラムが。他にも、スポーツ大会で親睦を深める「スポーツの秋月

間」や、親孝行のために全員に会社から1万円を支給する「親孝行月間」など様々。

仕事を「楽しむ」という考えのもと、これを取り入れてからは、定着率も求人応募数もグンとアップしたそうです。

みんなの関係性が 「仲のいい先輩・後輩」

楽しく働く上で最も重要なのは人間関係だと、坂元社長は言い切ります。人間関係が良ければ単純に一緒に仕事をして楽しいし、仕事上で不得手な部分はお互いに補い合うことができます。

キョウエイファインの人間関係については「ピラミッドをなくしたい」と坂元社長。

新入社員には、入社後すぐに、できるだけ多くの従業員との接点を持たせます。「全員が先輩。誰にでも相談できる」という環境を作り出すの

だそうです。

そして、坂元社長ご自身が従業員と接するとき、壁を感じさせないコツは「一緒に一息つくこと」。ユーモアを交えて笑いながら話してくれましたが、「一緒にジュースを飲んで楽しく話す空間ができることが大事」という言葉には、実に説得力がありました。

従業員の定着を考えたときに、経営者にとって一番大切なことは、「経営者自身も仕事を楽しむこと」。お互いが楽しんで仕事をしていれば人間関係は良くなるし、人間関係が良ければ仕事は楽しくなる。このシンプルな好循環が社内で「当たり前」になっていることが、「人が辞めない会社」の土台になっているようです。



株式会社キョウエイファイン
坂元 貞仁さん
代表取締役
所在地 / 愛知県豊田市
電話番号 / 0565-25-1815
【愛知県ファミリー・フレンドリー企業】



人が定着する職場の秘訣

多国籍だからこそ、従業員一人ひとりの目線で

●クラフツ 代表取締役社長 張 有志

定着に一番大切なのは コミュニケーション

CG制作、アプリ開発、ロボット・VR技術の研究開発を行っているクラフツ。世界的に有名な大作映画やアニメなどを世に送り出すグローバルIT企業は、従業員の国籍も様々です。

そんなクラフツを束ねる張社長が大切にしているのは、社員と過ごす時間。名古屋本社他に東京と韓国に支社があり、オフィスを忙しく飛び回っている張社長ですが、各事務所に足を運んだときは、そこに勤務している従業員一人ひとりと必ず接点を持つようにしているそうです。

月1回開催している社内イベントも、張社長自らがアイデアを出しています。その企画は、日本の食文化を楽しむ「日本酒パーティ」、みんなで身体を動かす「フィットネスイベント」「サバイバルゲーム」など様々。



それを従業員全員で実施しているというのを聞くと、会社全体の人間関係の良さが外からでも見えるようです。

「社員の定着に一番大切なのはコミュニケーション」という張社長の言葉は、クラフツの中を見ると一層の説得力を持ちます。

従業員と接するときは その従業員の言葉で

多国籍な企業で問題に挙がるのは言葉の問題。クラフツでも、日本のほか、韓国、インド、ニュージーランドと様々な国籍の従業員が働いていて、さらには海外に向けてのビジネスもしているだけあって、社内では様々な言語が飛び交います。

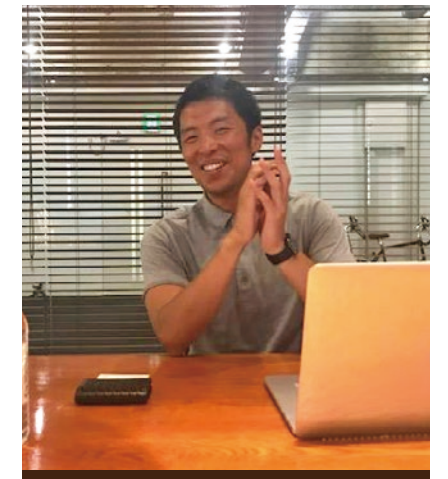
クラフツでは、外国籍の従業員のために、従業員が日本語を学ぶ機会も提供していますが、共通言語を必ずしも日本語に限定することはありません。社長や上司がその従業員

の話せる言葉を学び、コミュニケーションを図っているのです。

それはきっと、外国から日本にやってきた従業員には心強いはず。言語の違いの問題を、部下との信頼関係のきっかけに変えてしまったという見方もできるかもしれません。

「文化や価値観の違いがあるからこそ、同じ空間で、同じことをすることを第一に考えています」と話す張社長。

コミュニケーションと、従業員一人ひとりの目線で会社を見る張社長の姿勢が、従業員にとって最高に居心地がいい職場を作り出し、定着へとつながっているのでしょう。



株式会社クラフツ
張 有志(チャン リュンビ)さん
代表取締役社長
所在地 / 愛知県名古屋市中区
電話番号 / 052-684-6357



採用

育成

定着